

GALILEI

FUKUSHIMA GALILEI CO. LTD.

フクシマガリレイ株式会社

統合報告書 2019

GALILEI

Be cool, Be alive.

フクシマガリレイ株式会社

FUKUSHIMA GALILEI CO. LTD.

〒555-0011 大阪府大阪市西淀川区竹島2-6-18
Tel. 06-6477-2011 / Fax. 06-6477-0755
www.galilei.co.jp



Be cool, Be alive.

冷やす力は、活かす力です。
新鮮ないのちを、新鮮なままに。
おいしいものを、よりおいしく。
世界中に、お届けしたい。
食材の力を活かして、人々のいのちを育くむために、
私たちは、クールな技術を、進化させ続けていきます。

CONTENTS

- 03 トップメッセージ
- 04 企業理念
- 05-06 グループシナジー
- 07-08 沿革・売上推移
- 09-10 GALILEI ブランド
- 11-12 価値創造モデル

事業紹介

- 13-14 事業内容・SDGs
- 15-16 冷凍冷蔵庫事業
- 17-18 ショーケース事業
- 19 エンジニアリング事業
- 20 ガリレイパネルクリエイト株式会社
- 21 タカハシガリレイ株式会社
- 22 ショウケンガリレイ株式会社
- 23 FMS 事業
- 24 サービス事業
- 25-26 海外事業

- 27-28 環境方針
- 29-30 環境実績
- 31-32 社会貢献
- 33-35 コーポレート・ガバナンス
- 36 財務ハイライト
- 37 連結貸借対照表
- 38 連結損益計算書
- 39 連結株主資本等変動計算書
連結キャッシュ・フロー計算書
- 40 会社概要・株式情報
- 41 役員・事業所・グループ会社一覧

トップメッセージ

変わらない「技術志向」と 無から有を生み出す「哲学」で 新たなイノベーションを起こす

代表取締役社長 福島 裕

事業領域は「食」の川下から川上まで拡大
統一した“ガリレイブランド”で新たなスタート

1951年の創業から68年の歴史を積み重ねてきた福島工業株式会社は、本年12月3日よりフクシマガリレイ株式会社と名を改めました。また、人と人がつながり、知恵やノウハウをつくる「第三の工場」と銘打った新社屋も完成し、“ガリレイブランド”で統一したグループ各社と共に新たなスタートを切りました。

根本の「冷やす」という技術、生活者の目線に立った姿勢をさらに磨き、「食」の安全・安心を守るため、変わらぬ技術志向で新たなチャレンジに取り組んでまいります。ガリレイグループの事業領域は、ここ10年の間に大きく拡大しました。グループ内の技術力・製品力を横串に刺したコールドチェーンは、食の川下から川中、川上までをトータルにサポートすることができ、可能性の増大と業績の安定化につながっています。

これからも、ただモノをつくるのではなく、「マーケットシナジー」から新たなニーズを発掘し、様々な人や企業とのコラボレーションによる「技術シナジー」を生かし、業界に先駆ける真新しいイノベーションを起こしていきます。そのための指針となるのが、社名・ブランド名の『GALILEI』に他なりません。由来となった偉人ガリレオ・ガリレイは、それまでの常識をくつがえす「地動説」を唱えました。異端児扱いをされても、宗教的に迫害されても、決して最後まで諦めなかった背景には、“無から有を生み出す哲学”があったはずで

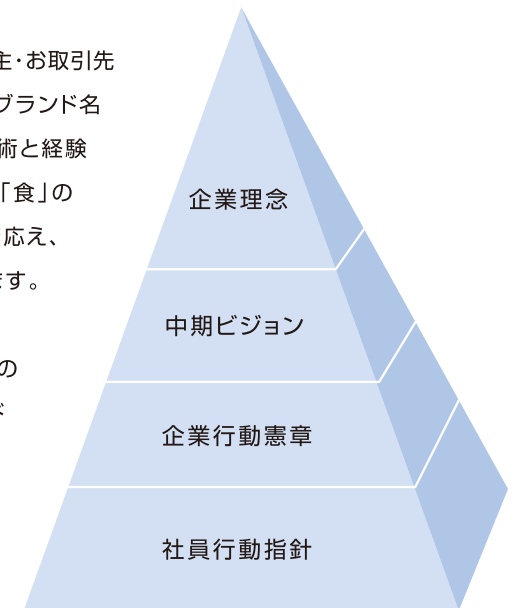
す。我々メーカーにとって、技術を高めるサイエンスはもちろん重要ですが“無から有を生み出す哲学”の存在は大切です。ガリレイグループとして、固定観念にとらわれず、のめり込み、突き詰め、まったく新しいモノやコト、生活者の幸せを創っていきます。

企業理念

環境・安全・安心をテーマに「幸せ創造企業」を目指します

ガリレイグループの企業理念は、「幸せ四則」に掲げる生活者・お客様・社員・株主・お取引先の幸せを実現するため、「食」を通じて社会に貢献し続けることです。新たなブランド名『GALILEI』として新たなスタートを切った今後、グループ企業各社の技術と経験を生かしたコールドチェーンにより、生活者が“生きるための基本”である「食」の安全・安心を守ります。“from Farm to Table”のすべてに「冷やす技術」で応え、食生活の品質向上を縁の下から支え、豊かで幸せな未来づくりにコミットします。

また、地球環境保護への取り組みとして、全製品の省エネ化と長持ち化の追求、企業活動全般におけるCO₂の削減、高度な冷凍・解凍技術によるフードロスの減少、冷媒ガス問題の解決に最大限努力します。さらにはSDGs（持続可能な開発目標）の取り組みもグループ全体で力強く推し進め、世界の発展・平和に寄与できる企業を目指します。



ガリレイグループの企業理念

第1項 生活者の幸せ	わたしたちは、環境・安全・安心をテーマにお客様と協働し、生活者の「幸せ」に寄与することを基本使命とします。
第2項 お客様の幸せ	わたしたちは、独自の技術とシステムにより、フードビジネスに新しい価値を創造し、お客様の「幸せ」に貢献することを基本使命とします。
第3項 社員の幸せ	わたしたちは、自己責任能力を高め、自身と社業の成長を通じて、物心両面の「幸せ」を追求することを基本使命とします。
第4項 株主・お取引先の幸せ	わたしたちは、将来への目標を共有し、常に業績向上に努め株主やお取引先に「幸せ」を提供することを基本使命とします。

企業行動憲章

- ・ 食の安全・安心
- ・ 顧客さま満足の追求
- ・ 環境保護
- ・ 社会貢献
- ・ グローバル
- ・ 法令遵守
- ・ 公平・公正な取引
- ・ 従業員の尊重
- ・ 情報開示
- ・ 情報管理
- ・ 反社会的勢力への姿勢

社員行動指針

- ・ 食の安全・安心 ———— いつでもどこでも食の安全・安心を
- ・ 顧客志向・顧客重視 ———— お客様にどっぷり浸かる
- ・ チームワーク ———— チームGALILEIで限界に挑戦
- ・ 独創性・先見性 ———— 未来に向かって大胆に挑戦
- ・ 教育 ———— 人を育てて、自分も磨く
- ・ ルール厳守 ———— 当たり前を、当たり前前に

ガリレイグループが切り拓く、 おいしさ、ゆたかさ、いのち、 しあわせの未来



生活者の「食」の安全・安心を守る ガリレイグループならではのシナジー

「食といのちの未来を拓く挑戦者」として、世界中へ食の幸せを届け、人々の人生を豊かにする。それが、ガリレイグループの使命であり、目指す未来です。長年培ってきた“冷やす力”と高度な“エンジニアリング力”で、お客様の幅広いニーズにも応え、生活者の「食」の安全・安心を守ります。グループ企業それぞれの“らしさ”と“コア技術”が融合して生まれるシナジーが、「食」の川下から川中、川上までをトータルサポートします。

POINT

グループシナジーの効果

- 事業の横展開による新たなニーズと市場の開拓
- 食のインフラに様々な角度からのアプローチ
- 各社が築き上げた歴史を土台にグローバルに展開

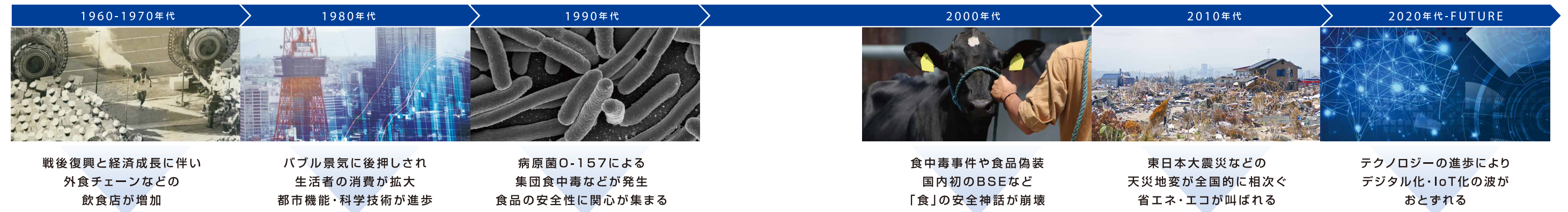


人と人、人と技術、技術と技術がつながる場

大阪市西淀川区竹島に完成した新本社ビルは、ガリレイグループ各社が一堂に集まり、それぞれの事業をクロスさせ、新たな価値を生む重要拠点となります。加えて、1階・2階・8階に、人が主役となる“コトづくり”の場『MILAB（ミラボ）』が誕生。グループの社員だけでなく、お客様、仕入先など他企業、大学、研究機関、起業家など異なる業種の人々が集い、語り合い、共同作業をし、「世の中になく技術やアイデアの開発」に取り組みます。「食」の分野にとどまらない、未来のための新たなイノベーションに必要な知恵やノウハウを創り、新たな商品やサービスを生み出し、お客様や社会の課題を解決していきます。

福島工業からフクシマガリレイへの歴史

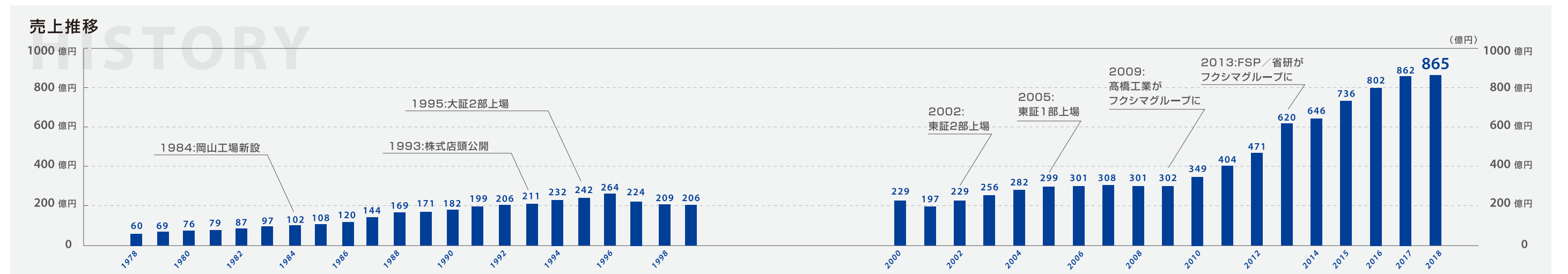
社会的課題・ニーズの変遷



ガリレイグループのソリューション

業務用冷凍冷蔵庫・ショーケースの製造を主力事業化	生産性の強化へ大規模な設備投資を実施 増加する受注へ対応できる体制へ	冷凍冷蔵技術を医療分野にも応用 温度コントロールの専門メーカーへ
1962 冷凍冷蔵ショーケース POSシリーズ  規格冷蔵庫ER型 1964	1984 ERシリーズ  ERシリーズ 1984	1995  1998
1962年 業界初の規格冷蔵庫 ER型を開発・量産化を開始 1964年 冷凍冷蔵ショーケース POSシリーズ量産化	1984年 岡山工場を新設 ERシリーズ量産開始	1995年 滋賀工場を新設 大証2部上場 1998年 プラストチラー発売 1999年 理化学・医療機器分野へ進出

食の安心・安全を守るために 独自のソリューション開発に注力	企業間連携を強め事業領域を拡大 より幅広い提案が可能に	未来に向けてブランド・社名・社屋を刷新 グループシナジーで業績拡大を図る
2001 Snet24  2006	2009-2013 高橋工業株式会社 FSP株式会社 株式会社 省 研	 GALILEI Be cool, Be alive.
2001年 フクシマSネットを開始 2005年 東証1部上場 2006年 北京二商福島 新工場竣工 岡山第2工場竣工	2009年 高橋工業がフクシマガループに 2013年 FSP/省研がフクシマガループに	2019年 本社 新社屋完成 社名変更ガリレイグループへ



専務取締役
営業本部長 福島 豪

新しい旗印「GALILEI」は 永続的発展に向けてグループすべてを束ねる

「福島工業」から「フクシマガリレイ」へ、「福島グループ」から「ガリレイグループ」へ。まったく新しい社名・ブランド名へと刷新するブランディングが始まったのは2016年にさかのぼります。福島工業本社の一室に集まったわずか3人の“夢の語り合い”は、最初から会社名を変えるという大それたものではなく、グループ全体の事業領域が広がった中で、“今までのイメージを払拭するゼロからのブランディング”がテーマでした。新たなブランド名『GALILEI』、ブランドメッセージ『Be cool, Be alive』の旗印を掲げるまでを先導した専務取締役・福島豪は言います。「ガリレイブランドは、現状に甘んじることなく、常に上昇志向を持ち、永続的に発展を遂げていくための強い意志そのもの」と。

GALILEI

Be cool, Be alive.

土台となるcoolな技術で、“いのち”にコミットできる企業集団へ

グループ全体の事業フィールドは、業務用冷凍冷蔵庫やショーケースを置く店舗から、食品工場、食品物流、医療分野の施設にまで広がりました。当社が誇るトータルソリューションという強みを社内外や国内外に向けてアピールするには、まったく新しい旗印となるブランドが必要と考え、仲間と何度も議論を重ねてきました。社名・グループ名を変えること自体が大きなチャレンジですが、各社が紡いできた半世紀以上の過去を否定するつもりはありません。ガリレイグループは、各社が実直に、地道に取り組んできた土台の上に立っているからこそ、さらなる新しい価値を生み出すことができるのです。ブランド名の『GALILEI』より前に、ブランドメッセージの『Be cool, Be alive』が決まりましたが、この言葉に我々が果たすべきミッションが凝縮されています。まずは『cool』。

事業すべてに当てはまる訳ではありませんが、グループ各社が「冷やす」という技術にとてつもないこだわりを持ち、設計・開発・営業・メンテナンスを極めてきました。これは当社のDNAであり、これからもcoolな技術で豊かな「食」を支えていくことは変わりません。そんな食のインフラに深く携わる私たちは、仕事もかっこよく、スタイリッシュに、coolでなければいけません。そして、生きるという『alive』に寄与していける企業集団でありたいとのこだわりもあります。人が生きていく上で必要な食べものに対する思い、食べることによって生きているからこそその健康や寿命への思い、生き物を育む地球環境に対しての思いを持ち、あらゆる“いのち”にコミットできる会社でなければならない。そのための変化と進化は、これからの永続的な発展に欠かせません。

—— 今までにない価値・戦略を生み出す拠点

長く続く会社を目指すためには、グループ企業の結束力を高め、さらなる成長力を社員と共につくり出すことが大切です。また、今までの価値とこれからの価値の両方をお届けするためには、ユニークな会社であり続けたいと思っています。その一つの取り組みが、新社屋に完成した“未来ラボ”『MILAB』です。1階ではガリレイグループが持つすべてのハードとソフトを体験していただけます。そして、2階では、社員・学生・教授・仕入先・異業種の方々が交流することにより、かつて天下の台所と呼ばれた“食の街大阪”を起点とする新たな価値や事業戦略などのイノベーションが生まれることでしょう。そのように、『MILAB』は計画当初から「価値型」に重きを置いたスペースとして構想してきました。しかし、実際に準備を進めていく中で、“結局この場所は人を育てる場所ではないか”との思いも強くなりました。様々な分野・世代の人が集まり、会話が生まれ、今までにない発想を形にする過程には、苦労も失敗もあると思います。ただ、それこそが人材の育成にとってなくてはならないものです。色々な事業があり、色々な人材を抱えるグループ内のシナジーだけでなく、『MILAB』で実現する垣根を超えた交流によって、新たな気づき・可能性・刺激・価値・人材・コミュニティは育っていくはずです。価値型と育成型の意義を兼ね備えた『MILAB』を大いに活用し、お客様や社会に役立つ“コト”を創ります。



—— 新たなチャレンジへの機運は高まっている

ドキドキとワクワクと少しの不安。これが、今の率直な心境です。ただ、期待感の方が大きく、新たなことにチャレンジしていく機運は高まっています。これから新たなブランドを広めていくのは、製品やシステム、広告だけでなく“人”です。ここで働く人だけでなく、関わるすべての人が、ドキドキとワクワクを体感・共有しながら、真の強いグループへ成長していくことが大切です。これまでの「縁の下力持ち」から、よりお客様と近い立場で共に問題解決を図れる「パートナー」へ存在価値を高め、社会へ広く貢献していきます。

価値創造モデル

GALILEI GROUP VALUE CREATION MODEL

食材の力を活かして、人々のいのちを育くむために、
私たちは、クールな技術を進化させ続けていきます。

私たちガリレイグループは、生活に不可欠な食のライフラインを支える者として、
世界中の食生活の品質向上をはかるために事業領域の拡大と冷熱技術をさらに進化させていきます。
スマートシフトをより加速させ、成長を続けながら、
世界におけるフードビジネスのリーディングカンパニーとして、革新的なイノベーションを創造し続け、
持続可能な社会の実現に貢献し、社会的責任を果たしていきます。

投入する資本

<財務資本>

安定した財務体質
(自己資本率62.1%)

<知的資本>

グループ各社が蓄積する
独自のコア技術と開発提案力

<製造資本>

グローバル展開する生産拠点
(滋賀・岡山・北京・タイなど)

<人的資本>

グループ統一の理念を実践する
従業員 2,285人(2019年3月末現在)

<社会／関係資本>

仕入先・代理店・地域社会との信頼関係
国内72カ所・海外11カ国の支店・営業所

<自然資本>

限りあるエネルギー資源

GALILEI

ガリレイグループ

フクシマガリレイ株式会社
FUKUSHIMA GALILEI CO., LTD.

タカハシガリレイ株式会社
TAKAHASHI GALILEI CO., LTD.

ガリレイパネルクリエイト株式会社
GALILEI PANEL CREATE CO., LTD.

ショウケンガリレイ株式会社
SHOKEN GALILEI CO., LTD.

3つのサイクルを
循環させる
事業創造プロセス

- ・冷凍サイクル
- ・サービタイゼーションサイクル
- ・幸せのサイクル

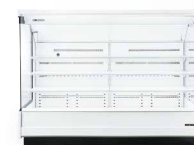
環境ビジョン

環境保全に向けた
製品・サービス体系
『ECO-tech』
10項目の推進

STRONG POINT

01

独自技術による
価値創造



ショーケース



業務用
冷凍冷蔵庫



ドゥコンディショナー



プラストチラー
/ ショックフリーザー

電解次亜水生成装置
FEクリーン水

バリューチェーン

研究・開発

調達・生産

物流・販売

メンテナンス
サポート

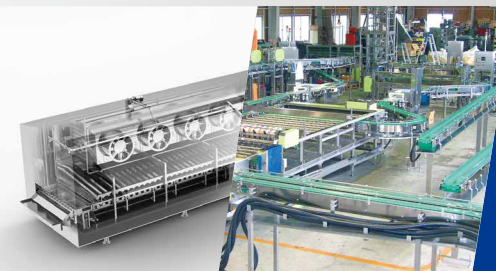
STRONG POINT

02

食の川下から川上まで
ガリレイグループ
全社の連携体制



ガリレイパネルクリエイト株式会社
パネル技術・エンジニアリング



タカハシガリレイ株式会社
トンネルフリーザー技術

ショウケンガリレイ株式会社
ラインシステム・コンベヤ技術

高品質な
製品とサービスの提供

- さまざまな情報発信
- エンジニアリング
- 製品
- システム
- フーズコンサルタント
- 海外進出サポート
- コールセンター
メンテナンスサポート

社員
EMPLOYEE

お客様
CUSTOMER

社会
SOCIETY

お取引先
SUPPLIER

「生活者」の視点に立ち
広く社会に貢献できる「幸せ創造企業」

株主
SHAREHOLDER

ステークホルダーとの
リレーション

- 本社ビル 1・2・8階『MILAB』
- 『キッサニア甲子園』パビリオン出展
- 『子ども食堂』冷蔵庫寄贈
- 実業団女子テニス部



本社ビル
MILAB



『キッサニア甲子園』
パビリオン出展



『子ども食堂』
冷蔵庫寄贈

長期的な
価値創造
FUTURE

事業内容・SDGs

GALILEI GROUP BUSINESS

ガリレイグループが構築する「食のコールドチェーン」は世界中の食文化を豊かにする

人々が口にする食材を安全・安心な状態で届けるために、ガリレイグループの「冷やす力」はあります。各社・各事業部が育んできた技術とノウハウを掛け合わせ、産地から食卓までをグループ独自の「コールドチェーン」でつなぎます。



GALILEI GROUP

ガリレイパネルクリエイト株式会社

GALILEI PANEL CREATE CO. LTD.

[P20 >>](#)

高性能断熱パネルの技術とシステムエンジニアリングで、食品加工工場、植物工場などに最適な「冷凍冷蔵空間」「クリーンな作業空間」を提供しています。



タカハシガリレイ株式会社

TAKAHASHI GALILEI CO. LTD.

[P21 >>](#)

連続式の急速凍結・冷却装置「トンネルフリーザー®」を世界で初めて開発・設計・製造したパイオニアです。創業から60年の実績と国内シェアNO.1を誇ります。



ショウケンガリレイ株式会社

SHOKEN GALILEI CO. LTD.

[P22 >>](#)

1968年の創業以来、食品工場向け機械設備・駆動系装置の専門メーカーとして、数多くの生産ライン・物流ラインの自動化・省人化・省力化を実現しています。



GALILEI GROUP SDGs

ガリレイグループSDGs宣言

わたしたちガリレイグループは、「持続可能な2030年までの開発目標（SDGs）」の趣旨に賛同し、企業の経済的価値の追求と社会的課題の解決を両立させることにより、生活者の幸せ、お客様の幸せ、社員の幸せ、株主・お取引先の幸せの実現を目指します。

宣言 | 1

生活者の食生活品質の向上を

▶ 食の安全・安心の追求

- 急速冷却・解凍技術で菌の繁殖を抑える
- HACCP支援システム
- MILABを起点としたイノベーション
- トータル提案・設計・施工できるエンジニアリング事業

▶ フードロスの低減

- コールドチェーンで食品の鮮度維持
- トンネルフリーザーで消費期限をより長く

<対応するSDGs>



宣言 | 2

地球環境にもっとやさしく

▶ 気候変動への適応と緩和

- 低GWP冷媒、自然冷媒への転換
- 冷媒漏れ検知システム、冷媒漏れ10年保証を目指す

▶ 持続可能な地域環境への貢献

- ITを駆使したサービタイゼーション
- LCAを意識した製品開発
- 省エネルギーの追求

<対応するSDGs>



冷凍冷蔵庫事業

GALILEI GROUP BUSINESS

クオリティと付加価値の高い商品の販売を通じてお客様の価値を高める製品・システムを提供します



取締役 FS事業責任者
水谷 浩三

創業以来進化し続ける温度コントロール技術と製品性能

フクシマガリレイの業務用冷凍冷蔵庫は、1951年の創業以来、「食」の安全・安心を守るために、食品の鮮度維持にお役立ち続けています。業務用冷凍冷蔵庫の規格品を業界で初めて製造し、製品のバリエーションや省エネ・温度コントロール技術、冷媒ガスなどの環境対応を時代と共に確実に進化させてきました。フクシマガリレイの“冷やす技術”は、今後も多くのお客様のニーズを満たします。また、HACCPの制度化

に対応する温度監視システムにも磨きをかけていきます。「冷凍冷蔵庫事業は、当社にとっての『DNA事業』です。日本人に外食文化が根つき始めた1970年代から、冷凍冷蔵庫の需要は大きく拡大していきました。現在、市場規模25兆円の外食産業、10兆円を超えるまでに成長している中食産業など、様々な食ビジネスにおいて大きな役割を果たしてまいりたいと思います」

グループ全体の方でお客様のお困りごとを解決

ガリレイグループ全体のシナジー効果を発揮していくカギは、厨房全体を意識したより良い提案です。「飲食店だけでなく、学校、病院、高齢者施設、スーパーマーケット、食品工場にも厨房設備があり、冷凍冷蔵庫は必要です。使っていただくユーザー様のご要望を取り入れながら、グループ全体の力を合わせ、ワンストップでアプローチしていきます。より多くのお困りごとを解決できるよう、知識やノウハウを積み重ね、各事業の価値を高めてまいります」



ブラストチラーや新型製氷機など「高付加価値商品」のさらなる提案

フクシマガリレイの原点である業務用冷凍冷蔵庫の販売実績に加え、近年は、製氷機の販売が拡大しています。省エネ性・耐久性・機能性・メンテナンス性にこだわったキューブアイス製氷機の新ブランド『MIRACLEAR』は高い評価をいただき、様々なマーケットに導入されました。製氷機のみならず、フクシマガリレイの高い技術力によって開発された「高付加価値商品」は、今後益々の活躍が見込まれます。「冷凍冷蔵庫事業は、食品を適切な温度で保管する機能だけにとどまりません。『ブラストチラー/ショックフリーザー』を使い、冷却工程の重要性にスポットを当てた『冷却調理』という理論がその一つです。『冷却調理』とは、調理において最適な温度管理を行い、食品の安全性を確保し、料理の品質向上や調理作業の効率化を実現する考え方であり、最良の状態を提供することを目的としています。また、『ステップ運転機能付き解凍庫』は、一定の時間でドリップが少ない高品質な解凍を実現します。さらに、パン生地の冷凍保管・解凍・ホイロまでの温度と湿度を正確にコントロールする『ドゥコンディショナー』は、生地にとって最適な環境をつくります。このような高付加価値商品によって、科学的にどう美味しいのかを解明するだけでなく、食品を“加工”する機能を持つ製品をお客様と一緒に開発し、マーケットに新たな価値をもたらします」

POINT	
フクシマガリレイの高付加価値商品	
 急速に冷やすことで食の安全性を確保する 「ブラストチラー／ショックフリーザー」	 パン生地の理想的な発酵を促す 「ドゥコンディショナー」
 一定の時間で高品質な解凍を実現する 「解凍庫」	 省エネで高い機能性も実現クリアな氷をつくる 「製氷機」

「食」に携わる企業・大学・人のシナジーを生み出す新拠点

フクシマガリレイの高度な温度コントロール技術は、生産者から消費者にいたるすべての人の食の安全・安心に貢献することができます。また、その技術や性能が、地球環境を守る大きな要因となります。「例えば、野菜は摂氏4℃での保管が最も鮮度を保持できると言われます。食品の品質を守る適正温度は、農業だけでなく、漁業や畜産の業界にも必ずあり、当社の温度コントロール技術によって賞味期限を伸ばしたり、食材のロスを減らすことも可能になります。また昨今、時短商品や完全調理品へのニーズが高まっていますが、グループ内の企業のコラボレーションによって、食品工場に対してのアプローチも可能です。当社の温度コントロール技術とシナジーが最大限生かせる場に、積極的に働きかけていきたいと思っています」フクシマガリレイの新社屋には、食に関する研究拠点『MILAB』が誕生し、グループ企業はもちろん、大学やベンチャー企業との連携が図られます。

「これからは、製品を販売するだけでなく、『食』に携わる企業としてより幅広い事業展開が必要不可欠です。『MILAB』で様々な関係者と連携・情報交換を行いながら、ガリレイグループができる社会貢献の在り方を追求していきます」



新本社のオープンスペース『MILAB』の1階は、グループ各社の主力製品及び厨房機器メーカーの最新機種が並び、食の学びが深められる“体感空間”

ショーケース事業

GALILEI GROUP BUSINESS

モノづくりから“コトづくり”へ
環境に配慮した
「快適な店舗づくり」の
実現を目指してさらに進化

ST事業責任者
小田 学

主役の商品を美しく見せるデザイン性、省人化にもつながる機能性を追求し 主力製品『Send-you』をフルモデルチェンジ

店舗に並ぶ商品の鮮度を守るショーケースは、業務用冷凍冷蔵庫と肩を並べるフクシマガリレイの主力製品です。全国のスーパーマーケット、コンビニエンスストア、ドラッグストアなどのお客様に、魅力ある店舗づくりや節電・省エネ対策をバックアップする高性能商品を提案しています。

「2011年に起こった東日本大震災以降、スーパーマーケットにおける省エネ対策、環境面への配慮はどんどん進んでいます。『食』を扱う小売業者と、それに携わる我々設備業者は、冷やす温度や技術のことだけでなく、安全・安心・衛生に対してさらに感度を上げていかなければならない時代です。環境問題については、国の施策に則り、我々が目指す方向性をお客様にしっかりと伝え、什器の切り替えや仕様の変更を丁寧に呼びかけていかなければなりません」

安定して冷えること、省エネであることはもはや当たり前のショーケースに、近年はより高い機能性が求められています。フクシマガリレイは今期、主力製品である別置型冷凍冷蔵オープンショーケース『Send-you』シリーズをフルモデルチェンジした『CLAIR Send-you』を発売致しました。

「ショーケースの主役は、中に並ぶ商品です。『CLAIR Send-you』は、主役の商品をより美しく見せることにこだわった製品であり、買い物をする生活者のことを一番に考えた

デザイン性と機能性を兼ね備えています。メンテナンス性においても、数多くの導入ユーザー様の声を生かして一新し、お客様にご迷惑や余計なメンテナンスの手間をかけない仕様に改めています。使いやすく、見た目もよく、ランニングコストも下がる最新ショーケースを前面に打ち出し、さらなる飛躍を図りたいと考えています」



豊富なバリエーションと高い省エネ性でシェア拡大の「内蔵ケース」

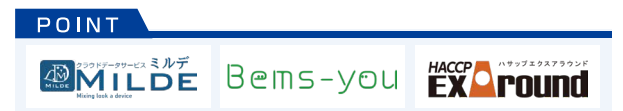
冷凍機別置型の『CLAIR Send-you』とは別に、店内でコンセントを挿せば什器が冷える冷凍機内蔵型のケースが、売上とシェアを伸ばしています。スーパーマーケットやコンビニエンスストア、ドラッグストアの店外に室外機を置く必要がない内蔵ケースの需要は、今後も高まると予想されて

おり、さらなる進化、他社との差別化が求められます。「内蔵ケースなどの開発什器は、お客様それぞれのニーズに応える商材として重要です。バリエーションの豊富さやトップランナーで省エネ性能の向上に開発チームが力を入れており、益々将来性のある製品と言えるでしょう」

「デジタルトランスフォーメーション」で付加価値の高いサポートを

顧客満足度の向上と、質の高いサービス・サポートを提供する上で欠かせない取り組みが、デジタル化へのシフトチェンジです。2001年から導入している遠隔監視サービス『Sネット24』は、お客様である店舗とフクシマガリレイが常にネットワーク上でつながり、ショーケースなどの機器の状態を24時間体制でデータ管理できるデジタル化の先駆けでした。その後も、『MILDE』、『Bems-you』、『HACCP EXAround』などクラウドで管理するデジタル活用に注力してきました。これからは、問題が起こってからではなく、事前に必要なサービスが行える仕組みや、お客様のストレスを軽減する対応が重要です。

「フクシマガリレイでは、それらを『デジタルトランスフォーメーション』と表現し、全社的に積極推進しています。モノづくりの会社ではありますが、これからは特に“コトづくり”が大切です。お客様の求める付加価値は、無人店舗での遠隔対応、ロボットが動くショーケースの誕生など、夢は広がるばかりです。今後、この分野への挑戦は不可欠で、グループ企業や専門技術を持つ他社との協働により実現していきたいです」



店舗全体プロデュースへの挑戦が新たな市場を掘り起こす

お店で買い物をする生活者の快適性を向上させ、環境面に対しての取り組みを強化するためには、お客様と一緒にお客様の店舗で理想的なシステムを開発していくことが必要です。

「ショーケースを商材とする我々が次に進んでいかなければならないのは、スーパーマーケットの空調設備などを含め、店舗全体をプロデュースする『快適な店舗づくり』への取り組みです。モノを売るだけのプロダクトアウトにならないためにも、現状の考えや事業範囲にとらわれず、未来へ向かってどのような挑戦ができるのかが大切です。IoTの活用やデジタル化、無人店舗への取り組みも、その一環だと認識しています。ガリレイグループに名前が変わった中で、ショーケース事業に求められるのは、チェンジではなく、



進化です。今までの領域にとらわれず、今はないゴールであっても、一歩ずつ挑戦していくことが、新たな市場を掘り起こす進化につながると思っています」

エンジニアリング事業

GALILEI GROUP BUSINESS

各社融合の「ハブ」となり
トータルソリューションの
さらなる推進を



フクシマガリレイ 取締役副社長
ガリレイパネルクリエイト 代表取締役社長
福島 亮

「食の工業化」が市場全体のニーズ拡大の大きな要因に

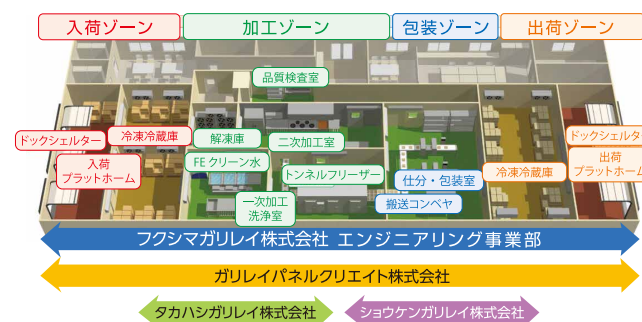
フクシマガリレイのエンジニアリング事業は、食品工場や低温物流倉庫などへのトータルソリューションを手掛けています。主力製品の業務用冷凍冷蔵庫やショーケース、グループ企業のフリーザー、パネル、コンベヤなどの技術力を結集し、お客様のニーズを叶える最適な環境を形にするフレキシブルな提案で市場を拡大しています。

「ここ10年の間に『食の工業化』が一気に進んだことで、エンジニアリング事業の需要は確実に拡大しています。この背景には、女性の社会進出に伴う“日本人の食の在り方の変化”があり、調理時間の短縮や調理済み商品へのニーズに応える食品工場や低温物流の拠点が全国的に増加しました。工場で調理された食べ物を購入し、時間をかけずに食事を摂る風潮は今後も続くと見られ、まだまだ上り坂の市場であると見ています」

徹底した温度管理と安全・安心な食品管理が求められる工場施設全体のプロデュースには、ガリレイグループのシナジーが欠かせません。各社・各事業部の製品や販路を生かした戦略で、トータルサポートができる体制の強化に取り組んでいます。

「食品工場を創業以来ターゲットにしてきたタカハシガリレイは、お客様に商品をダイレクトに販売できる接点を持っています。ゼネコンやディーラーを経由せず、グループ内で

総合的な提案をできるシナジーは非常に大きな利点です。案件が海外にも広がってきた今後は特に、各社が個々に製品を販売するだけでなく、それぞれが持つ情報を相互交換しながら、トータルソリューションの可能性を探ることが重要です。エンジニアリング事業部が“ハブ”となり、グループ内の技術と情報の“融合”を積極的に推進していきます」



生産設備系メーカーとの協力強化を

グループ全体の提案力をさらに向上させるために、生産設備系分野へのアプローチは不可欠です。「パネル、フリーザー、コンベヤはグループ企業で対応できますが、熱機器やフライヤーを扱うメーカー、完成品を梱包するメーカーと上手くアライアンスを組むことで、よりトータルな提案が可能になります。受注単価の増加を図るためにも、協力関係の強化に注力したいと考えています」

ガリレイパネルクリエイト株式会社

GALILEI PANEL CREATE CO. LTD.

衛生管理と温度管理の徹底に欠かせない「先進のパネル技術」

ガリレイパネルクリエイト株式会社が製造する「高性能断熱パネル」は、フクシマガリレイのエンジニアリング事業に欠かせない重要商材であり、製造だけでなく設計から施工までを一貫して社内で行っています。冷凍冷蔵庫に必要な断熱機能をベースとする先進のパネル技術は、衛生管理と温度管理の徹底が必要な食品工場、物流センター、植物工場、精密機器や薬品を取り扱うクリーンルームなどに使用され、各施設に最適な「冷凍冷蔵空間」や「クリーンな作業空間」をつくっています。

「フクシマガリレイに参画した2013年以降、食の工業化に伴い、パネル需要は大きく飛躍しました。近年は、人が作業する空間を仕切る『不燃パネル』の受注比率が高くなってきていることが特徴です。また、FMS事業部のお客様であるメディカル系のクリーンルームに用いられることも

増え、中でも薬品卸会社の各拠点や薬品会社に当社のパネルを提供させていただいています。ユーザー領域が『食』の分野以外にも広がってきた今後も、ガリレイグループの一員としてさらに研鑽を重ね、持続可能な社会の実現に貢献する事業展開を図りたいと考えています」



各施設の用途、温度帯、設置条件、規模・スペースなどに応じた最適なパネルシステムを設計・施工し、お客様のニーズに応えます。

ノンフロンパネル『econea』を開発

地球環境にやさしい発泡剤「HFO」を使用 全製品を“完全ノンフロン”に切り替え

2019年12月より、滋賀・彦根工場で生産する断熱パネル及び断熱不燃パネルの全製品が、新発泡剤『HFO(ハイドロフルオロオレフィン)』を使用した「ノンフロンパネル」に切り替わりました。次世代の地球環境保全を見据えた、代替フロンを使用しない製品の研究に5年前から取り組み、品質と環境配慮を両立させる高性能な『econea(エコネア)』シリーズの開発が実現しました。

「ノンフロンパネルの市場投下は大きなエポックです。彦根工場では、11月中にすべての製品を『econea』に切り替える大掛かりなプロジェクトを行い、万全の準備を整えました。最長8mを越えるパネルの表面平坦度を、新たな発泡剤で基準以上に確保する研究開発には長時間を要しましたが、パネル表面の品質安定度は非常に高く、満足のいく仕上がりになっています。オゾン破壊や地球温暖化などの環境問題に配慮したノンフロンパネルは、環境面に敏感なお客様はもちろん、すべてのユーザーのニーズを満たすことができると確信しています」

Eco + Connect + Earth

Eco — 環境に配慮したパネルで

Connect — お客様とガリレイグループ
お客様のお客様まで
みんなをつないで

Earth — 環境と大地・地球を結ぶ

発泡剤	ODP (オゾン破壊係数)	GWP (地球温暖化係数)
HFO	0	1
HFC-245fa	0	1,030
HCFC-141b	0.11	725